



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

「守る」を「伝える」私の「アオハル」

群馬県立伊勢崎高等学校 林中 煌真

6月6日(金)と6月7日(土)に伊勢崎高校で文化祭「蒼穹祭(そうきゅうさい)」が開催されました。6日は学校内公開、7日は一般公開となり、多くの方に来校いただきました。蒼穹祭は各クラス同士が互いに競い合い、考え合い、多種多様な企画を行います。有志団体では音楽演奏やダンス、作品等を展示し多種多様な興味深いものばかりです。このような伊勢崎高校の蒼穹祭ですが、私は部活動や有志団体及び自衛隊と協力して蒼穹祭を盛り上げたいという強い意志を持ち、今年の蒼穹祭を実現することができました。

蒼穹祭開催にあたり、お忙しい中何度も群馬地方協力本部前橋募集案内所の皆さんにご来校いただき、文化祭担当先生とも打ち合わせをしていただき、私自身毎日学校に行くことが楽しみでなりません。打ち合わせを重ねていただき、装備品の展示や写真部写真の展示などが少しずつ決まってくることが楽しく感じ、文化祭前日は寝られませんでした。文化祭1日目は開会式から始まり、トップガンの名曲を流しながらパイロットスーツを着た新聞部部长と航空自衛隊の制服を着た私が自衛隊広報ブースのPRを行いました。

自衛隊ブースには、たくさん生徒や校長先生や教員の皆様に来ていただき、自衛隊車両との記念撮影や、隊員との腕立て伏せ勝負等を行いました。男女年齢関係なく楽しんでいらっしゃるの「笑顔」私はこれを見られた時、本当に開催することができてよかったなと思いました。生徒や教員だけではなく、自衛官の皆様も暑い中、蒼穹祭を楽しんでいただきました。写真部の展示スペースにもたくさん来ていただき、普段は見られないような自衛官の写真なども展示して、関心を持っていただきました。文化祭2日目は一般の来場者も来ていただき、開会前から自衛隊ブースにはたくさんの方々が賑わっていました。お子様連れの方や高齢の方、高校生など様々な人にご来場をいただきました。

文化祭終了後の人気投票では有志団体の部で最優秀賞をいただきました。お暑い中この企画に携わっていただいた自衛官の皆様には感謝があります。

今回の企画の実現にあたって大切だと思ったことは、「探究」「繋がり」「行動」の三つのキーワードです。一つ目の「探究」について本校はとも力を入れているとされており、その第一人者である校長先生の理解を得られたことも実施できた大きな要因であるでしょう。私の「探究心」を校長先生が寛大な心で受け入れていただいたからこそ実現できたと思います。

今後も「探究心」を持って色々なことに取り組むことが大切だと思いました。二つ目の「繋がり」に関しては今回の企画において重要であったと感じました。入間の写真研究会が一番のきっかけとなり自衛官の方と関わることができ、繋がりを通じて協力の大切さも部活などの仲間を通して感じる事ができました。今ある「繋がり」をもっと大切にしていきたいです。三つ目の「行動」これは自分の生涯の課題だと思いました。私は「行動」を起こさないと後悔をしたことが数え切れないほどあります。何度も思い出して頭を抱えることもあります。恥ずかしく周りの目やネガティブなことを気にしたところで自分にとってプラスに働くことは少ないと思います。好きなことであつたらこそ發揮できた「行動力」今後は今回の経験を活かして「行動」をしていきたいです。

結びに、今回の伊勢崎高校蒼穹祭にあたり協力をいただいた自衛官の皆様、そして伊勢崎高校の校長先生、教職員の皆様、両親や友達には大変感謝をしております。私なりの最高の「アオハル」を皆さんと共に過ごせたことは私の人生にとってかけがえのないものになると思います。私の「探究心」と「熱意」を感じていただくと嬉しいです。

結びに、今回の伊勢崎高校蒼穹祭にあたり協力をいただいた自衛官の皆様、そして伊勢崎高校の校長先生、教職員の皆様、両親や友達には大変感謝をしております。私なりの最高の「アオハル」を皆さんと共に過ごせたことは私の人生にとってかけがえのないものになると思います。私の「探究心」と「熱意」を感じていただくと嬉しいです。



校内掲示された新聞部作成の自衛隊記事



写真部部长と新聞部部长によるトップガン



校長先生と生徒による記念撮影

伊勢崎高等学校「蒼穹祭」に出展 ～熱意があれば何でも出来る！！～

2等陸曹 武井 健司

自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所(所長 2等陸尉 土屋章)は、令和7年6月6日(金)及び7日(土)に、群馬県立伊勢崎高等学校で開催された文化祭「蒼穹祭(そうきゅうさい)」に参加した。

今回、自衛隊が高校の蒼穹祭に出展できる事となったのは、ひとえに伊勢崎高等学校写真部部长、林中煌真(はやし なかこうま)さんの「熱意」によるものであった。

きっかけは、昨年11月に開催された「学生写真研究会(入間編)」に林中さんが参加し、「今日という平和な日常は、普段、世間の目に触れることのない、様々な人々の努力によって維持されていることを実感した。」ことだといふ。

今回の経験を通じて写真部部长として出来ることは何か考えた末、林中さんは同学校の生徒ひいては地域の方々など、より多くの人々に自衛隊という存在を知ってもらうため、蒼穹祭で自衛隊との「コラボ企画を自ら提案し校長先生に了承を得て、今回の参加に至った。当日は、伊勢崎高校写真部が撮影した写真と、自衛隊員が撮影した災害派遣活動等の写真を展示し、「写真」を通して自衛隊の活動をたくさんの人に知ってもらった。

他には、第48普通科連隊(相馬原駐屯地)の支援を受け「軽装甲機動車」及び「高機動車」の展示、制服試着・背囊(はいのう)装着・ドローン体験、隊員と気軽に話せる「なんでも相談コーナー」等により自衛隊の存在を身近に感じてもらえるような企画を実施した。併せて、自衛隊に興味を持っていただいた生徒・来場者に対して、自衛隊の各種説明を行い、更なる理解を図ることができた。

生徒と来場者からは、「企画の中で自衛隊が一番楽しかった。」などの数多くの感想をいただいた。

また、林中さんからは「たくさんの方にご来場頂き、「見て」「触れて」「話すこと」で、自衛隊について関心を高める活動のお手伝いをできたのであれば幸いです。」との感想をいただいた。林中さん、企画から調整、実施に至るまで本当にありがとうございました。

自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所は、今後も地域及び学校と連携し、自衛隊への更なる理解と普及に努めていく。